

介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	介護過程Ⅲ	合計時間数	45
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し活用できる。 ・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護(アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等)を提供できる。 ・介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。 		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の展開の実際 多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する。 ・介護技術の評価 介護技術の原理原則の修得・実践とともに、知識・技術を総合的に活用した判断力、応用力を評価する。 		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開	45	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者のさまざまな暮らしと介護過程の展開 <ol style="list-style-type: none"> ①生活することの意味、人生の尊さ、介護職の仕事の魅力 ②介護技術の実施と評価 2. 第3章で取り上げられる事例の特徴 <ol style="list-style-type: none"> ①事例1「片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた介護」 ②事例2「在宅で終末期を迎える高齢者と家族の生活支援」 ③事例3「都会に住む一人暮らしの高齢者の生活支援」 ④事例4「介護老人保健施設で生活する利用者への支援」 <ul style="list-style-type: none"> 【事例1 片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援】 ①利用者のプロフィール ②家族構成および生活歴 ③現在の状況 ④【解説】Kさんの介護過程について 【事例2 在宅で終末期を迎える高齢者と家族の生活支援】 ①利用者のプロフィール ②家族構成および生活歴 ③現在の状況 ④【解説】Nさんの介護過程について 【事例3 都会に住む一人暮らしの高齢者の生活支援】 ①利用者のプロフィール ②家族構成および生活歴 ③現在の状況 ④【解説】Fさんの介護過程について 【事例4 介護老人保健施設で生活する利用者への支援】 ①利用者のプロフィール ②家族構成および生活歴 ③現在の状況 ④【解説】Sさんの介護過程について 3. 実技評価テスト 	
【使用テキスト】 中央法規出版「介護職員等 実務者研修テキスト 第3巻」		【評価方法】 科目別小テスト及び、実技評価テストに対し、A=90点以上、B=80点以上C=70点以上、D=69点以下の4段階にて評価し、C以上を合格とする。	